

CS だより

コミュニティスクール

第2回学校運営協議会 9月21日（木）
～田子浦プロジェクト委員会の児童と交流しました～

【交流会】

自己紹介の後、グループに分かれて、地域の皆さんにお願いしたいことや一緒にやりたいこと・地域のためにできること等について、意見交換会を行いました。

- 地区の清掃やボランティア活動を一緒にやりたい。
- スポーツイベントやゲームなどで、地域の大人と交流したい。
- 低学年の子たちに、交通ルールを教えたい。
- 草取りをして、地域をきれいにしたい。
- 登下校の時の地域の方々が見守りに感謝している。
- 地域の方のあいさつや声かけがうれしい。

残暑厳しい中でしたが、子供たちからたくさんの意見が出され活発な話し合いとなりました。



【児童との交流会を受けての話し合い】

- ・どの子ども、地域の大人と交流したいという思いをもっていることが分かってうれしかった。
- ・子供たちが、相手の目を見て話したり話を聴いたりしていて、素晴らしいと感心した。
- ・登下校の見守りやボランティア活動で、地域の大人が自分たちのために活動してくれていることをきちんと理解し、感謝の思いをもっているのが感じられた。
- ・クラスでアンケートをとって意見をまとめてこの会に臨んだとのこと。自分の役割がきちんと分かっているんだなとその姿勢に感動した。
- ・地域の活動やイベントについての情報が子供たちにも伝わるよう、伝達方法の工夫に取り組んでいきたい。
- ・子育て世代でない家庭にも、学校の情報や子供たちの様子が伝わるような発信が欲しい。

※協議会委員からは、このような感想や意見が出されました。次回の協議会（12月12日）では、今回の交流会の意見を参考に、今後の運営協議会の活動について話し合っていくこととなりました。

【その他】

- ・まちづくり協議会の本多会長より、「11月に行われる田子浦地区文化祭&たごうら市のボランティアを中学生だけでなく小学校の6年生にも募集をかけたい。」との提案あり。一同賛同により、小学校を通じて...6年生に募集要項を配付することが決まる.....

交流会に参加した子供たちと協議会委員さんの感想を紹介します

田子浦プロジェクト委員会の子供たち

- ・学校の代表として話し合う時、すごく緊張した。でも、自分が考えていたことをはっきり言えたので良かった。
- ・話し合っていく中で、地域の方が、陰でいろいろなことをしてくださっていることを知ったので、みんなに伝えていきたいなと思った。
- ・進んで意見を言ったり、委員さんの話を聞いて考えて発言したりすることができた。
- ・自分たちの話に、委員さんがいろいろ返してくれたりしたのでとても話しやすかった。
- ・緊張で、あまり大きな声で話せなかったのが、第2回があるなら、もっと大きな声で話したいと思う。
- ・クラスみんなからアンケートをとったことを伝えたら、クラスの意見をまとめてくれてありがとうといってくれて、うれしかった。
- ・大人の人相手に話したことがあまりなかったけど、とても話しやすかった。交流会に参加してよかったと思った。
- ・この話し合いで、もっと地域の人達と関わりがもてるようになるといいと思った。
- ・運営協議会の方が、話をちゃんと聴いてくれてうれしかった。
- ・同じグループの委員さんが、地域のことと私の発言を組み合わせ考えてくれて、最終的には、「こんなことできたらいいな。」と思うところまで話し合えてよかった。
- ・委員さんたちは、児童みんなのことを思ってくれているんだなと感じてうれしかった。
- ・地域のために、自分にできそうなことがあったら、できるだけやっていきたいと思った。
- ・話し合ったことが、実行できるといいなと思った。



運営協議会委員の皆さん



- ・子供たちは、臆せず飾らず、自分が思っていることを滑らかに話してくれる姿がうれしかった。
- ・地域の大人の活動に感謝していることに感動した。
- ・子供たちと関わる時間を設けてもらってありがたかった。子供たちからパワーをもらった。
- ・子供たちが、皆、純粋で素直なことに驚いた。意見もしっかり言えていて、学ぶことが多かった。
- ・子供たちは、地域の方々と一緒に活動したりして触れ合いたいと感じていると感じた。
- ・子供たちの生の声が聴けて良かった。できれば、もっと時間が欲しかった。
- ・子供たちは、必ず話す人の方を向いて話を聴いてくれて、うれしかった。
- ・地域のために、どんなことができるのかの具体的な意見をもっており、その受け身でない姿勢に感動した。

- 子供たちは、地域の方々に感謝の気持ちをもっていて、一緒に活動したいという気持ちがあることも感じられた。